えだ福祉ホームだより VOL.90

令和6年4月11日発行

NPO 法人 えだ福祉ホーム

キッチンわがは

7-11

編集/発行 : NPO 法人 えだ福祉ホーム

:横浜市青葉区荏田町494-7

TEL/FAX : 045 (911) 9995

Eメール: e.wakaba@d9.dion.ne.jp
ホームページ: http://edahome.sakura.ne.jp/

ツイッター: https://twitter.com/eda_he

Facebook : http://www.facebook.com/edahome?ref=stream



日々の流れは早いもので、今年も新年度の季節になりました。 別れや出会いの時期、えだ福祉ホームでも新たなメンバーさんを1名を迎え、令和6年度が始まります。

昨年から「かたらいフェスタ」「クリスマス会」を再開し地域の皆さまとの交流を実感できました。

在田地区社会福祉協議会の皆さまとも 4 年ぶりにいちご狩りに行くことができました。 今年度も皆さまとの楽しい時間がひと つでも多く過ごせるように取り組んでいきたいと思います。 えだ福祉ホーム 所長 松岡直樹

> - ^{えだ福祉ホームの窓} 楽しい春、 旅立ちの春、 始まりの春です

ふだんのくらしのしあわせを考える[福祉教育]

障害当事者講師養成講座

横浜市・区の社会福祉協議会では、学校や地域、企業などからの依頼を受けて「福祉教育」の講座を実施しています。この中で「障害理解」を目的とした講座の多くで講師となる障害当事者のための講師養成講座全 4 回にえだ福祉ホームから一人、参加することができました。この講座では「障害を社会モデル」としてとらえ、障がい理解を伝えていくために「講師として求められること」「実際の現場で先輩講師がどのような講座を実施しているか」などを勉強し、4 回の講座のような講座を実施しているか」などを勉強し、4 回の講座の後半では実際に講師としての講義を実践しました。参加した受講者は「聴衆のことを考えたり出来たこと、他の様々な立場の人の自分の知らないことを聴けたことが大きな収穫になりました。」と話していました。

いちごし持りしめ地域交流事業し

3月16日(土)地域のみなさんと社協の方々とご一緒にいちご狩りに行きました。9:30 出発で向かった戸塚区にある「ichigos YOKOHAMA」では、吊り下げ式の栽培棚(ハンギングガター)という方法でいちごを栽培しているので車いすでもいちごが採りやすく、思う存分楽しむことが出来ました。





ココロはずむアート展

2月7日(水)~3月7日(木)まで、都筑区や青葉区、 緑区の11の福祉施設に通う利用者が手がけた絵画や作品 の展示会場がえだ福祉ホームになりました。

入り口にはかかしの オブジェ。







手織りの色とりどり の反物 がきれ いです

段ボールで出来た カラフルな鳥。

カラーでお見せ出来ないのが残念です。



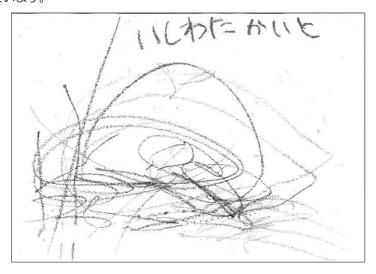
動物や人も段ボールとは分からないカラフルな仕上がり



☆ 心身の発達に遅れや障害をもつ こどもたちのための訓練会の活動☆

「さくらんぼ会」 http://sakuranbokai.qp.land.to/

横浜市に住むハンディを持つ子どもの親数人が力を出し合い始めた集まりが横浜市の助成を受けて発足した会です。運動・学習・食事などの訓練を しています。



「えくぼクラブ」

https://ekubo.club/

子どもの発達に不安を持つ保護者が集まって自主運営している団体です。 居住エリアは主に青葉区が対象で、2歳~20代と幅広い年齢層の子供たちがいます。 ホームページ➡「えくぼクラブ」で検索

保育部ではお別れ遠足にキドキドよみうりランド店に行ってきました。家族も一緒に楽しい時間を過ごしました。

ひなまつり制作では用意した土台におだいりさまとおひなさまを親子で貼りました。すてきな作品ができました。



「えだすまいるの会」

ハンディを持つ小学生以上の子どもたちが将来の自立に向けて日常生活に 必要なこと(運動・学習・調理・作業など)を練習しています。



合同避難訓練



な避難ができ、簡易トイレの組み立ても行いました。

辞令交付式



4月1日(月) これまでは午前中に行われていた「辞令 交付」でしたが今年は入所式が無かったことから午後に 所長がそれぞれの席を訪れて行いました。



Go Jo

関やんのつぶせき

春になって、過ごしやすい季節がやって 来ると思っていました。が、毎日の気温は 10℃も変わる乱高下。ついでに天気も荒

れ放題。桜の開花も4月までずれ込みました。

この寒暖差に私の身体がついていかず体調を崩してしまいました。ですが、その分休養をしっかり取ることができたと考えて新年度をより楽しんでいきます。

昨年度は地域の小学校との交流や桜木町にある社会福祉協議会でお話をさせて頂いたり、障害当事者講師養成講座に参加したりと、コロナ禍の時に比べたら何事も意欲的に取り組めています。たくさんの活動が出来ているのも協力して下さる方々のおかげです。

今年度もえだ福祉ホームでは、「辞令交付式」がありました。辞令には、それぞれのメンバーに向けたメッセージが書いてあります。私は今年度もそのメッセージを大切に過ごしていきたいと考えています。

今年度も「えだ福祉ホーム」と「キッチンわかば」を よろしくお願いします。